

情報連絡員総括表（2024年9月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60名：回収率100%）

○2024年9月のDI値（全体）は、前月との比較において、「売上高」「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」の6指標が改善、「取引条件」が横ばい、その他2指標が悪化した。「売上高」「収益状況」の2指標は製造業・非製造業問わず改善傾向が見られるが、DI値は全体でマイナスを記録するなど依然厳しい状況にある。

○「製造業」では、前月との比較において「売上高」「在庫数量」「販売価格」「収益状況」「設備操業度」の5指標が改善され、「取引条件」が横ばい、その他2指標が悪化した。「雇用人員」においては8月に26.7ポイントの改善を見せ、2024年に入り初めてのプラス値を記録したが、9月は一転して13.4ポイントの悪化により再びマイナスを記録した。電気機械器具業界では、長引く猛暑の影響で販売が上振れたことにより、エアコンの販売が3ヶ月連続プラス（昨年度比）と好結果となった。

○「非製造業」では、前月との比較において「売上高」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の4指標が改善され、「取引条件」が横ばい、その他2指標が悪化した。収益状況は16.7ポイント改善しているが、依然としてマイナスを記録するなど厳しい状況が続いている。宿泊業では、販売額は増加しているものの、仕入価格の上昇が収益を圧迫している。その一方インバウンド需要が稼働率の底上げにつながるなど売上高が改善傾向を示している。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2024年9月	-15.0	-11.4	23.3	-10.0	-30.0	-11.7	-23.3	-8.3	-26.7
2024年8月	-21.7	-9.1	25.0	-10.0	-40.0	-20.0	-33.4	3.3	-28.3
増減	6.7 ↑	-2.3 ↑	-1.7 ↓	0.0 -	10.0 ↑	8.3 ↑	10.1 ↑	-11.6 ↓	1.6 ↑

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減	
売上高	2024年9月	-30.0	6.6	ポイント	↑	0.0	6.7	ポイント	↑	-15.0	6.7	ポイント	↑
	2024年8月	-36.6				-6.7				-21.7			
在庫数量	2024年9月	-10.0	-3.4	ポイント	↑	-14.3	0.0	ポイント	-	-11.4	-2.3	ポイント	↑
	2024年8月	-6.6				-14.3				-9.1			
販売価格	2024年9月	26.7	13.3	ポイント	↑	20.0	-16.6	ポイント	↓	23.3	-1.7	ポイント	↓
	2024年8月	13.4				36.6				25.0			
取引条件	2024年9月	-10.0	0.0	ポイント	-	-10.0	0.0	ポイント	-	-10.0	0.0	ポイント	-
	2024年8月	-10.0				-10.0				-10.0			
収益状況	2024年9月	-40.0	3.3	ポイント	↑	-20.0	16.7	ポイント	↑	-30.0	10.0	ポイント	↑
	2024年8月	-43.3				-36.7				-40.0			
資金繰り	2024年9月	-16.6	0.0	ポイント	-	-6.7	16.7	ポイント	↑	-11.7	8.3	ポイント	↑
	2024年8月	-16.6				-23.4				-20.0			
設備操業度	2024年9月	-23.3	10.1	ポイント	↑					-23.3	10.1	ポイント	↑
	2024年8月	-33.4								-33.4			
雇用人員	2024年9月	-6.7	-13.4	ポイント	↓	-10.0	-10.0	ポイント	↓	-8.3	-11.6	ポイント	↓
	2024年8月	6.7				0.0				3.3			
業界の景況	2024年9月	-33.3	-3.3	ポイント	↓	-20.0	6.6	ポイント	↑	-26.7	1.6	ポイント	↑
	2024年8月	-30.0				-26.6				-28.3			

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	1	2	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0
	繊維工業	1	1	0	1	1	0	0	1	0	2	0	1	1	0	0	2	1	2
	木材・木製品	0	1	0	0	1	1	0	1	0	2	0	1	0	2	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	窯業・土石製品	1	1	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	1	0	0	1
	一般機器	0	2	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2
	電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	輸送用機器	0	3	1	1	1	0	1	1	0	2	0	1	0	2	1	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	1	2	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	X					
	小売業	0	4	0	2	1	3	0	1	0	4	0	3						
	商店街	1	2	1	1	2	1	0	2	0	2	0	1						
	サービス業	3	1	X		3	1	2	1	1	1	1	0						
	建設業	2	0			2	0	1	1	1	1	1	0						
運輸業	3	1	X		2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1		

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	・原料不足に起因する製品価格上昇が追い風となり増収・増益で推移している。組合単位としては喜ばしい事だが原料不足イコール組合員の加工数量の減少である事から楽観は出来ない。魚価やインフラコストが下がり組合員の加工数量が増加して欲しいと切に願う。
パン	・9月も猛暑が続き消費者の消費意欲が進まないものの中旬以降過ごしやすい日もあり、組合員は秋の新商品販売により売り上げ確保を図っていく方針である。
織物	・受注はここ半年以上綿・正絹製品ともに安定して入ってきている。機屋が減少する中、生産の平準化で凌いでいる。ここ数年のうちに織元による織機増設も検討中。
木材・木製品	・業界全体に停滞感漂う。原木の伐採量も芳しくなく、製材所は原木手当てに懸念を抱いている。
印刷	・資材の値上げに対し価格転嫁できるか不安。前年7月～今年6月の商業印刷用紙の出荷量が前年比87%。5年続けば50%になる計算だが、対処の明確な答えが出ない。
骨材・石工品	・先月同様、売り上げ及び収益は前年同月より減少している社がある。
金属製品製造業	・台風の影響のため、物流への支障、取引先の休業措置などで生産高減となった。
生産用機械器具	・親会社の当初の予測として、今年の後半から受注量の増加が見込まれていたが、見通しが立たないほど遅れている。
電気機械器具	・白物家電の8月の業界統計では、消費マインドの改善が進まず国内出荷金額はマイナスとなった。冷蔵庫は6ヶ月連続のマイナス、ルームエアコンは5ヶ月ぶりのマイナスであった。 ・9月の生産は、冷蔵庫は久しぶりに昨年並みに回復、家庭用エアコンと業務用エアコンは西日本を中心に気温が高く販売が上振れして3か月連続してプラスとなった。組合員にとっては楽観できない状況が続いている。
輸送用機械器	・最低賃金の静岡実施時期(10月1日)以降に知らなかった、何でそんなに上がった、経営が出来ない等様々な意見が出るのではないかと考える。事務局においても、最賃なんか関係ないと思っていたが、しっかり最低賃金を意識した賃金構造に変えていかないと、合理化と言う人員削減が出来るのかそれこそ、雇用も守れない、組合業務の遂行にも影響が出、賃上げすれば社会保険料も上がり手続きも必要等、賃上げすれば賃上げ以上に負担増になる。 ・9月2・3日は台風10号の影響により、カーメーカーのラインが停止となり生産が減少となった。

非製造業

セメント卸売業	・9月は停滞していた公共関連工事が回復し、5ヶ月振りに前年同月比プラスとなった。上期全体では前年比1割減で、依然厳しい状況にある。
各種商品卸売業	・団地創設以来の組合員ギフト関連企業が撤退し、運送業の企業が12月より加入する。
鮮魚小売業	・8月末から9月初めの台風、例年では考えられない残暑の影響等により売上高は減少。また、仕入単価・人件費の上昇等により収益面も悪化した。10月より最低賃金の改定に伴う人件費の上昇・物価上昇と業界の景況は更に悪化するものと思われる。
野菜・果実小売業	・じゃがいも、玉葱、人参が9月に入り値段が下がった。高値で推移した青果物は少なく、全体的に安値となった。
各種商品小売業	・物価高、増税等で個人消費が伸び悩む等、深刻な経済状況になりそうである。特に個人商店は、より大変になりそうである。 ・9月20日よりプロと楽しむ「お街ゼミな〜」を開催している。専門店の知識や技術を生かした講座など38講座を開催。街の魅力やお店の魅力を知って頂き、新たなファンになって頂くことを目的としている。ネットで街に来なくてもお買い物ができる時代だが、人と人のふれあいやコミュニティを大切にしていきたい。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比86.1%と悪化した。夏休み明けに施設点検等で休館をする施設が多く、宿泊人員は減少した。また、秋の旅行シーズンに入ったが、予約の問い合わせは弱い。 ・台風10号による大雨の影響で、9月第1週の集客は苦戦した。販売額は増加したものの、依然仕入価格の上昇が収益を圧迫している。 インパウンドの増加が全体的に稼働の底上げにつながった。
総合工事業	・資材価格の値上がりが続いている。
職別工事業	・全体的に繁忙期はまだ迎えていないが、受注単価は下がっておらず、今後年末に向けての受注環境が見通せている年末に向け、繁忙期を迎えらるだろう。
道路貨物運送業	・9月に入っても全国的に真夏日、猛暑日が続いた結果、飲料水や夏物家電の出荷が昨年比に比べ増加した。本年6月に法改定された労働時間の関係もあり、車両不足が顕著になった。元々、遠距離利用の多かったJRコンテナ貨物ですが、車両不足により活用が増加している。国内の原油価格は下落及び円高傾向が続き、これに伴い原油コストも減少傾向を辿っている。
道路旅客運送業	・8月の運送収入は前年同月比で9.5%上回ったものの、令和元年度との比較ではマイナス19.3%となっている。さらに輸送人員についてはマイナス33.4%で前月のマイナス26.4%よりも低い状況。猛暑や天候不良により旅客需要が落ちているようである。

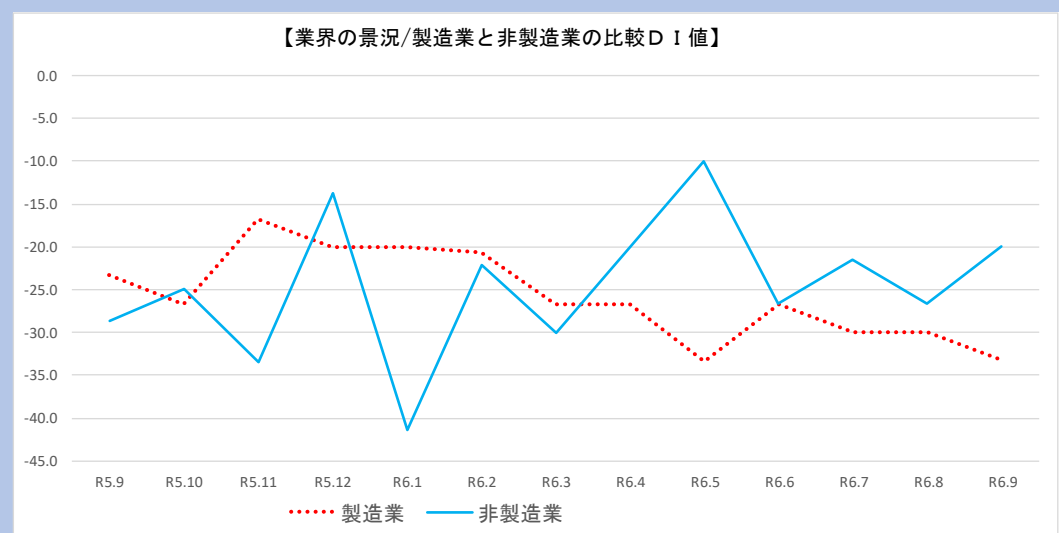
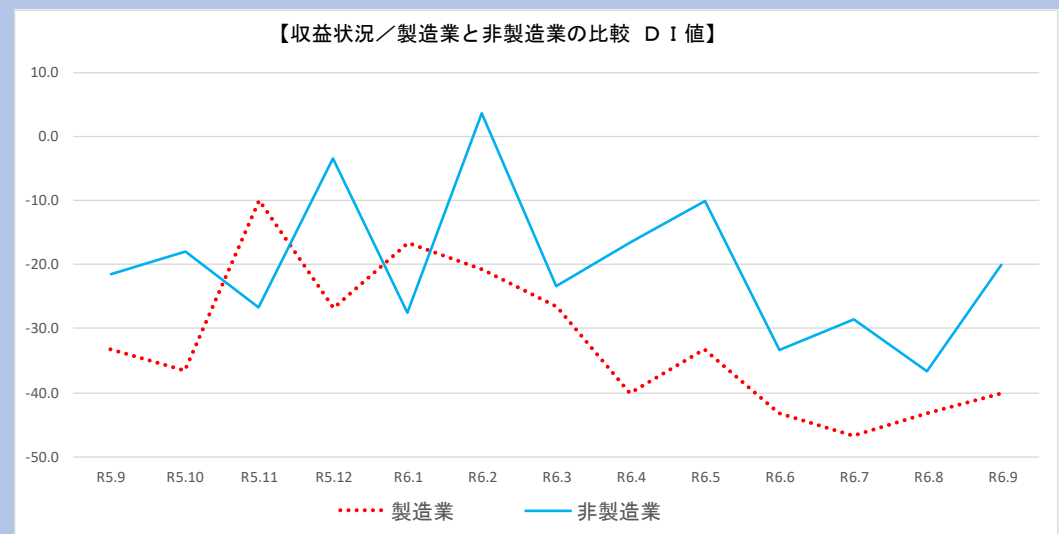
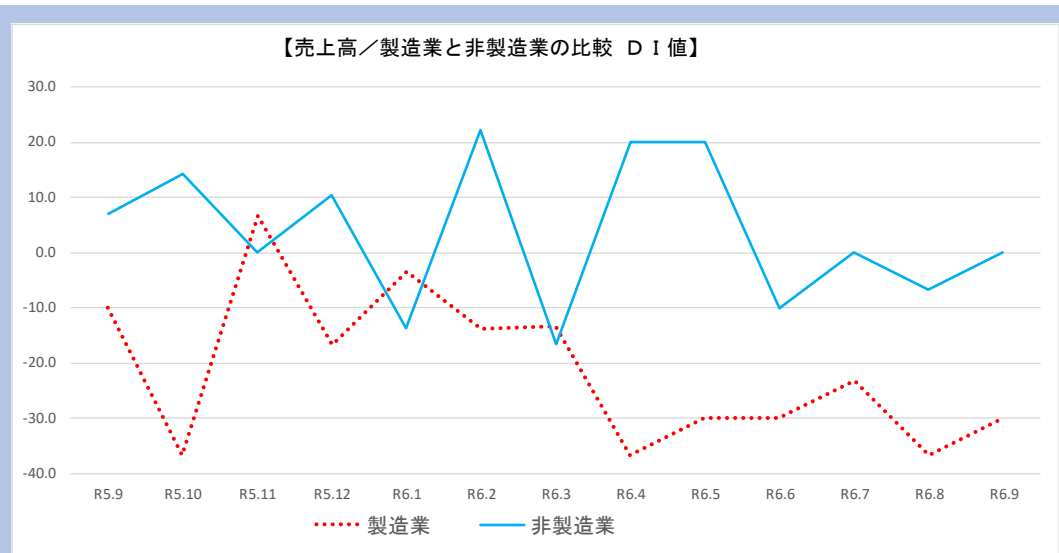
4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2023年9月期～2024年9月期までの推移

売上高	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
製造業	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0
非製造業	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0

収益状況	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
製造業	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0
非製造業	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0

業界の景況	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
製造業	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3
非製造業	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0



■ 2023年9月期～2024年9月期までの推移

売上高	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
製造業	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0
非製造業	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0

収益状況	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
製造業	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0
非製造業	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0

業界の景況	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
製造業	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3
非製造業	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0

